



ふれあひ西本郷小

令和 2 年度
2月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和3年1月29日(金)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子

キャッチフレーズ: あいさついっぱい みんながえがお 西本小

北風に挑戦

校長 佐久間 宣朝

B棟裏の梅の花が、つぼみをふくらませ、春の訪れを待ちわびているかのようです。もうすぐ立春です。しかしまだまだ冷たい風が吹きますが、子どもたちは元気です。

1月8日より緊急事態宣言が発令され、学校もいろいろな点で自粛をしました。保護者の皆様に予定をしていただきました授業参観は、今年度唯一の機会だったと思います。とても残念です。また、4年生のバレエ鑑賞教室を中止させていただきました。学習では、音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカを控えています。2月に緊急事態宣言が解除されることを願っています。

さて、1月は書き初めでスタートしました。1年生と2年生は教室にて硬筆で、3年生から6年生は体育館にて毛筆で、一生懸命に書きました。今年度から毛筆の学習を始めた3年生は、初めて長い紙に毛筆で書きました。正座をして、少し緊張した面持ちで真剣に書いていました。



真剣な表情の3年生

2年生は10月から12月まで「まちたんけん」で学区を歩いて回りました。公園やアースプラザ、警察学校など、いろいろなものを見つけました。また、まちの素晴らしい景観などを「まちカルタ」にしてまとめました。思い思いのまちの好きなところをカルタにして、絵もとてもよく描けています。友達同士でカルタ大会をすることを目指しています。



完成したカルタ

5組さんは冷たい風にも負けず、体育で「的あてゲーム」を頑張りました。大きな段ボール箱や三角コーンなどを中心に置き、その的をめがけてボールを投げます。しかし、その的に簡単に当てられないようにする、ガードマンもいます。そのガードマンの隙を突きながら、的に命中させなければなりません。ガードマンの動きをかわすために、フェイントをする低学年もいて、その白熱したやり取りは、とても迫力がありました。



ガードマンの隙をついて

運動委員会が「短縄集会」として実施しました。1月の体力づくりとして例年なら大縄集会をしますが、コロナ感染予防のため工夫をしてくれました。1分間でどれだけ跳ぶことができるか自分で目標を決め、その目標に挑戦しました。ペア学年で行い、励まし合い「頑張っ！」の音が聞こえ、大変微笑ましかったです。100回に挑戦していた1年生がいました。最終日に達成できて、とてもうれしそうでした。短縄はほかの人と自然に距離をとるので、コロナ禍にはよい運動です。できれば子どもたちに流行ってほしいと私も一緒に参加しました。ペアの相手がいなくの子のために運動委員会が準備していましたが、その児童が私の回数を数え応援してくれました。おかげで目標を達成し、一緒に喜んでくれました。感謝しています。



励まし合いながら目標に挑戦

しばらくは気温の低い日もあると思いますが、子どもたちは寒さに負けず、頑張ってくれることと思います。